

◆受講者の声（危機管理ラボ）

- ・過去の大災害を踏まえて教訓とすべきものを例示され、決してよそごとでないどこでも起こり得る気象事件の中で、大変参考になった。このような事例を踏まえての毎年の研修は大事である。意識深い講演会でした。
- ・今回の研修のように実例（首長としての判断、日頃の対策等）を基にした具体的研修を望みます。
- ・実例を題材にして、大変わかりやすいお話で専門家らしい示唆に富む内容で、説得力があった。今後もこのような講義を希望します。
- ・災害対応のマニュアルだけではダメで、日頃の心構えが必要だと思いました。
- ・実際に災害対応にかかわった被災自治体の体験談は貴重であり、今後も組み入れてほしい。
- ・自助・共助・公助それぞれの立場で災害活動された方々の体験から痛切に感じたことや防災対応、活動など他地域に参考になる事例研修を引き続き望みます。
- ・毎年、被災首長の話を知ることができるのが非常に貴重な経験となっています。
- ・「備えあれば憂いなし」を再認識しました。首長も必要ですが、担当職員向けの研修の強化・充実も
- ・大変勉強になりました。災害行政実務に係る担当職員向けの研修や実際に災害対応にあたった自治体の首長等の「生の声」を聞く研修も検討いただければ幸いです。
- ・首長の危機管理意識の向上に役立つ内容でした。さらに自治体職員の危機管理意識の醸成に資する内容を盛り込んでほしい。
- ・実際に災害の経験のある首長から直接話を聞くことができた。災害を風化させないために首長の防災・危機管理研修は毎年実施してください。
- ・今回のように実体験に基づいた講演が役立つ。もう少し時間が欲しい。成功事例に加えて、反面教師的な失敗事例（してはいけない事）も紹介があれば良かった。
- ・災害対策本部長は首長がなるが、知識がないと適切な判断ができない。問題が大きい程判断しなければならないことが多いため、このような状況に対応できる研修が必要である。
- ・あらかじめ各市町村の問題点や課題をアンケート収集しておき、専門家が講義したり、参加者同士が討論する時間があると問題を共有できて良いのでは。
- ・災害時の本部設置時のリアルな対応の体験談。マスコミへの対応等の情報が聞きたい。
- ・災害情報の把握と勧告などの発令のタイミングが理解できなかったので、今後それを具体的に教えるような研修を希望します。
- ・様々な事例をたくさん聴き、体に植え付けることが、実際の災害時に役立つと思うので、このような研修会を、パターンをかえて数多く開催してほしい。